電子配布のみ

学校法人別府大学 明星小学校　令和７年度学校だより

Myojo Kirari

第１４号

【令和８年３月３日発行】

発行者　校長　米持　武彦

HP

Instagram

年度末の学校の点検・評価～子どもたちの声とともに、よりよい明星小へ～

年度末は、学校の点検・評価の時期です。今号では、Ⅰ.学校評価アンケートの結果、Ⅱ.第２回学校評議員会の概要、Ⅲ.法人監事による監査の結果、学校の点検・結果のご報告を致します。

Ⅰ　第２回学校評価結果です

令和７年度学校評価アンケート結果です。

【全体的な傾向】

１回目（7 月）と２回目（2 月）を比較すると、全体的に肯定的な回答の割合が上昇しており、学校の取組が着実に成果を上げている様子が窺えます。特に、教員・保護者・児童の三者すべての評価が好転している項目が多く、学校全体での一体感や教育活動の浸透が進んでいるようです。

【注目すべき改善点と成果】

1. 教育目標の浸透（項目①）

教員肯定率	保護者肯定率	児童肯定率
70% → 90.9%（+20.9pt）	70.5% → 84.1%（+13.6pt）	86.9% → 90%（+3.1pt）

＜まとめ＞ 教育目標の共有と実践が進み、三者間での理解と実感が深まっています。特に教員の意識向上が見られ、日々の授業や行事が目標に沿って展開されてきたと言えそうです。

2. 「探究する子」の育成（項目②）

教員肯定率	保護者肯定率	児童肯定率
80% → 90.9%（+10.9pt）	70.5% → 84.1%（+13.6pt）	91.7% → 93.3%（+1.6pt）

＜まとめ＞ 探究学習の定着が進み、児童自身もその成長を実感している様子が窺えます。保護者の評価も高まってきて、家庭との連携による学びの可視化が少しずつ進んだと言えます。

3. 「いつでもどこでも探究する子」への結実（項目⑤）

教員肯定率	保護者肯定率	児童肯定率
81.8% → 90.9%（+9.1pt）	84.2% → 84.1%（ほぼ横ばい）	82.6% → 86.7%（+4.1pt）

＜まとめ＞本年度の重点目標が浸透してきており、特に研修を通した教員の意識が高まっています。児童の自己認識も向上し、日常の中で探究的な姿勢が育まれていることが窺えます。

【今後の対策と課題】

〇教員の指導の質の向上： 教員の肯定率が高い一方で、保護者や児童の実感とのギャップが見られる項目もあります（例：英語教育、地域連携）。家庭や地域への発信を強化いたします。

〇地域・大学との連携の深化： 地域や大学との連携の項目は伸び悩んでおり、活動の「意味づけ」や「目的の共有」など、児童が地域や社会とのつながりを実感する工夫を進めます。

〇健康・安全教育の強化： 健康課題や安全点検の項目では、教員の実施率は高いものの、児童や保護者との実感に差があります。声かけや連携を通じて、健康意識の定着を図ります。

電子配布のみ

【児童・保護者アンケートから見えた声と今後の方向性】

アンケートでは「学校をより良くしたい」等の前向きな声が多く寄せられました。一部紹介。

■ 遊具・アスレチックの充実（児童）

＊「ターザンロープやブランコを戻してほしい」「遊具が少ない」との声が多数（11 件以上）

⇒安全面を確認しつつ、児童会・保護者と連携し、80 周年記念事業と連動して再設置を検討

■ 制服の見直し（児童・保護者）

＊「冬に長ズボンを導入してほしい」「スカートが恥ずかしい」との声が児童・保護者双方から多数（児童多数、保護者複数）

⇒児童、保護者を交えて制服検討チームを立ち上げ、意見選択肢の拡充を検討

■ 行事・イベントの工夫（児童・保護者）

＊「ひな祭り集会」「卒業旅行」など新しい行事への期待（児童多数）

⇒児童会や各委員会と連携し、その年度の行事・集会や、伝統行事の見直しを検討

■ 学びの多様化と探究活動（児童・保護者）

＊「プログラミングや自由研究をもっとしたい」「iPad と紙教材との併用を希望」「先生の指導の質に差がある」「若手教員の離職が心配」などの声

⇒探究過程に児童の関心を反映した個人学習や、ICT と紙教材のバランスを考慮して実施

Ⅱ　第２回 学校評議員会の概要です

１　開 催 日：令和８年２月 25 日（水）11:00～13:00

２　出 席 者：学校評議員５名（西謙二様、後藤善友様、金成妍様、後藤竜太様、蛯谷智子様）、校長、教頭

３　主な内容

＊授業参観 ： 和やかな雰囲気と繋がり合う仲間意識を感じた/図書館の高学年の探究科では ICT や本を使いこなし、これまでの積み上げを感じ、すごいことが起きていると思った/全体的にほっとする雰囲気。生徒と生徒、生徒と先生の関係が良い/楽しい思い出が大切

＊学校評価②の説明と協議 ： 自己評価案、改善策を承認、聞き方が厳し過ぎるとの助言

＊児童募集に関する意見 ： 大分への通学バスの増、動画・口コミ・地域連携の活用と広報

＊児童の探究成果発表 ： 発表内容・姿勢ともに高評価、家庭や地域とのつながりへの期待

Ⅲ　法人監事監査の結果です。

１　開 催 日 ： 令和８年２月 10 日（水）12:30～14:30

２　出 席 者 ： 監事２名(高橋　敏、阿部辰也)、校長・教頭、事務部長、事務課長
法人２名(西村専務理事、盛本事務局長)、監査室２名（吉田室長、岡田主任）

３　主な内容 ： 業務監査・教学監査（経営方針、児童募集、学校評価結果、卒業後、給食等）

４　監査結果 ： 特に指摘事項はない。

(1)（一部略）、充実した教育が行われていることが確認できた。今後とも教育の質の向上に継続して取り組むことによって、小学校の魅力が高まることを期待する。

(2) 一方で、少子化に伴い近年入学者が減少していることが懸念される。今後は例えば募集の裾野を学習塾に広げることや、オープンスクール参加者のフォローアップ及び、ＳＮＳを利用した教育情報の発信を行うことなどにも期待したい。　以上です。